



令和4年4月7日

かみせや

横浜市立上瀬谷小学校 学校だより

4月号

上瀬谷小学校教育目標

学び合う子

認め合う子

鍛え合う子

かけがえのない日々 かけがえのない一人ひとりを大切に

校長 小林 京子

桜満開、菜の花、チューリップ、ムスカリ、スイートピーと色とりどりの花々に囲まれた広い校庭。小鳥のさえずりとともに、今年も「春が来ました」と、皆に自慢したくなるような素敵な春が上瀬谷小学校にやってきました。一年前、初めて上瀬谷小学校の門をくぐった時には、そんな風景に感激しながら、楽園に来たのかと感じたことを思い出します。

春の音が少しずつ近づいてきた3月18日には、令和3年度第74回卒業式が挙行されました。卒業生78名は、呼名されると「はい」という返事と共に、校長から卒業証書を確認に受けとることができました。卒業式の前には、1年生から5年生が考えた「はばたけ6年生」というお祝いの会で、そして、卒業式は保護者1名、教職員での門出のお祝いをすることができました。日頃より子どもたちを支えてくださっているPTA本部をはじめ、たくさんの方々の保護者の皆様、地域の皆様に、感染症対策のため、式に参列していただけなかったのは残念でしたが、この場を借りてご報告いたします。

そして、本日、57名の新1年生を迎え、全校388名で令和4年度がスタートしました。どれだけ、世の中が変化しようとも学校は、子どもたちにとっては、かけがえのない日々を過ごすところです。私たち教職員は、「子どものために」を合言葉に、一丸となってよりよい教育活動を考え続けていく所存です。ここに、新学級の子どもの名前が書かれた名簿があります。一人ひとりの名前に込められた、ご家族の方々の思いや願いについて想像をめぐらせています。一人ひとりがかけがえのない存在であり、そうした子どもたちの集まりが教室であり、学校なのだという事を再認識しております。

昨年度、上瀬谷小学校に着任した私が、すぐに感じたことは、昇降口がとてもきれいなことでした。靴箱をのぞくと、どの学年も、かかたがびたっとそろい、どんな子どもたちが教室で勉強しているのか、靴箱を見ただけでも想像することができました。そのことは、一年間、ぶれることなく続けました。規律を守り素直な子どもたちは、かけがえのない穏やかな日々を大切に過ごすことができました。

今年度は、そんな上瀬谷小学校の子どもたち一人ひとりのよさを一層伸ばせるよう、今できることを考えて、子どもたちが主役の温かい上瀬谷小学校を創っていきます。



末筆になりましたが、4月1日付で、前任の大竹貴子校長先生の後を受け、現職に着任しました小林京子と申します。改めて、どうぞよろしくお願いたします。